

授業科目	ニューツーリズム論				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	角谷 尚久										
授業概要	<p>ニューツーリズムとは、従来型の観光旅行ではなく、テーマ性の強い体験型の新しいタイプの旅行のことをさす。</p> <p>本授業ではニューツーリズムの具体的事例を取り上げながら、その解説を行う。従来型のツーリズムとの違いに着目して、その長所と短所、今後の課題について学ぶようにする。</p> <p>状況により外部講師を招聘し行う場合がある。</p> <p>本科目は講義形式にて行うがアクティブラーニングの手法を取り入れ、毎講義ごとにレスポンスシートの提出を求める。</p> <p>進行状況により、シラバスの変更を行う場合がある。</p>										
授業形態	講義	授業方法	対面授業 ICT を活用し、Google クラウドルームによる理解促進並びに自主学习支援を行う								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	現在、世界中で注目されているさまざまなニューツーリズムを理解し、それを地域でどのように活用できるかの判断ができる。 ニューツーリズムにはどのようなものがあるのかを理解できる。										
理想的レベル	ニューツーリズムによる地域活性化のプランを立てることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	40%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	40%										
その他	20%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	T031507J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
復習										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明										
第2回	従来型の観光の問題点										

第3回	着地型観光と地域
第4回	聖地巡礼
第5回	スポーツツーリズム
第6回	ガストロノミーツーリズム
第7回	エコツーリズム
第8回	Industrial Study Tourism
第9回	酒蔵ツーリズム
第10回	メディカルツーリズム
第11回	ダークツーリズム
第12回	グリーンツーリズム
第13回	アドベンチャーツーリズム
第14回	スローツーリズム
第15回	まとめ
テキスト	適時レジュメを配布する。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	ニューツーリズム読本：新しく考える地域の観光振興 『ニューツーリズム読本』編集委員会 編、友月書房
課題に対するフィードバックの方法	レポート並びにレスポンスシート、授業態度を総合的に勘案する。 成績発表後に評価点分布図を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	ニューツーリズムという概念の下、ジャンルは日々進化していますので、興味を持って参加してください。 可能であるなら、実際にニューツーリズムを体験し、従来型の旅行との違いを体感してください。